

報告

国労議員団関東ブロック総会を開催

国労議員団関東ブロック■（水戸、千葉、東京、高崎、新潟、長野の各地本議員）の総会は、高崎地本の担当で4月18日から19日まで群馬県草津で開催されました。

当日は、議員が15名、各地本の代表6名そして、東日本本部より委員長、書記長、さらに国労本部書記長の参加の出席で、合計25名が集まりました。

事務局長の河野達男新宿区議の司会で始まり、議員団長の佐藤洋二日野市議の挨拶、国労東日本本部高野委員長の挨拶、開催地本の横塚高崎地本委員長と大野貞義安中市議の挨拶を受けました。

その後、国労本部浜中書記長より、JR不採用事件解決について、最も新しい経過も含め、解決への動きの状況報告を受けました。

さらに国労東日本本部の松井書記長より、JR東日本における効率化施策について、偽装請負について、組織強化・拡大の取り組みについて、報告をいただき若干の質疑も行いました。

JR採用差別問題は、24年目に入り、もはや先のぼしは許されません。雇用問題の前進とともに早急な解決が求められます。

次に、参加各議員から自分の自治体での課題や問題、議会活動の報告などを出し合いました。議会改革の取り組みで通年議会や政策立案委員会を設置した報告、定例会では必ず質問を行い、その報告を

市民に知らせる行動など、各地でがんばっている活動報告がありました。

2日目の19日は、高崎地本議員団と群馬県議の角倉さんの案内で、八ツ場ダムの見学を行いました。

草津温泉から流れる強酸性の水を中和させるための石灰流入現場とその下流で堆積した石灰を排出するための品木ダム、そして問題の八ツ場ダム甲予定地である、川原湯温泉や水没予定地区、代替居住予定地などを見学し、あらためて計画の問題点や公共工事中問題点を身近にし、壮大な無駄と自然破壊を目の当たりにし、八ツ場ダムは中止するしかないことを強く感じました。「

4月18日投開票の千葉県長生村議会議員選挙で、現職の山口さんと新人の増子勇男さんが当選し、国労関東ブロックの議員団が1名増えました。

来年度は、4月に統一自治体選挙があり、秋に水戸地本の担当で開催することを確認し解散しました。

議員団事務局長 新宿区議 河野達男

